

2017 年 04 月 03 日

報道関係者 各位

会社名 レーザーテック株式会社
東証第1部コード6920
横浜市港北区新横浜2-10-1
代表者名 代表取締役社長 岡林 理
発表担当 経営企画室 室長 浅井 浩志

新製品 マスクブランクス欠陥検査装置
MAGICS シリーズ「M8650/M8651」を発表

【概 要】

この度レーザーテックは、設計ルール 10nm～7nm 世代の最先端半導体用マスクブランクス欠陥検査装置で高感度・高スループット化に対応した MAGICS シリーズ M8650/M8651 (以下、M8650/51)を製品化いたしました。

【内 容】

当社のマスクブランクス欠陥検査装置 MAGICS シリーズは、長年にわたり高い評価と信頼をいただき、業界標準機としてマスクブランクス^{※1}メーカーでの出荷検査、およびマスクショップでの受け入れ検査やプロセス管理で活用されております。近年、最先端の微細化プロセスに対応するため、マスク技術においても EUV や新構造マスクの適用など、様々な技術革新が行われております。これに伴い、マスクブランクス検査もさらなる高性能・高機能化が急務となっています。

当社は 2014 年 4 月に販売開始し好評頂いている M8350/51 に対し、さらなるスループットの向上と高い感度を実現した M8650/51 を開発いたしました。

M8650/51 は MAGICS シリーズの基幹技術を用い、355nm レーザー光源を採用。M8350/51 と比較して、ビーム本数を倍増、検査時間を 1/2 としました。さらに高密度スキャンを用いることで、M8350/51 同等の検査時間で 1.5 倍の高感度を実現しました。また、本装置は M8350/51 からフィールドアップグレードが可能です。すでに多くの引き合いをいただいております、複数台の受注が決定しております。

レーザーテックは、これからも次世代高品質マスクブランクスの出荷品質の向上、およびマスクショップでのマスクブランクス受け入れ検査やマスク製造プロセス管理の改善に向けて貢献してまいります。

【特 長】

- 次世代高品質マスクブランクス欠陥検査に有効な高検出感度と、量産工場での出荷・受入検査に適した高スループットを両立した最新鋭欠陥検査装置
- 既にマスクブランクス検査の業界標準機となっている MAGICS の基幹技術であるコンフォーカル光学系を採用した 63 本のマルチビームスキャン方式をベースに、微小欠陥に特化した欠陥検出回路を搭載
- サブストレート※2 のみならず、最先端半導体用マスクブランクス各層における欠陥検出感度を飛躍的に向上させ、より高品質なブランクスを選別が可能
- カセットは、ブランスメーカー向け多段カセットから、マスクショップ向け RSP、MRP、および EUVL 向け Dual pod まで対応が可能
- M8651 は、ライン & スペースのモニターパターン検査に対応した製品で、マスクショップでの各種プロセス管理に有効

【用 途】

- サブストレート、光マスクブランクス (Cr 膜、MoSi 膜、ハーフトーン膜)、EUV マスクブランクス (Mo/Si 多層膜、吸収膜) の欠陥検査
- 欠陥レビュー

※1 マスクブランクスとは、パターニングされる前のフォトマスク製造用の基板です。

※2 サブストレートとは、マスクブランクスを作る前のガラス基板です。



マスクブランクス欠陥検査装置
M8650/51

◇お問い合わせ先◇

〒222-8552 横浜市港北区新横浜 2-10-1

レーザーテック株式会社 第1ソリューションセールス部 神山 弦一郎

TEL: 045-478-7337 FAX: 045-478-7333

E-mail: g_kamiyama@lasertec.co.jp